



夢叶える北小っ子

～居場所と出番のある学校～



令和8年1月9日 菊池北小便り NO. 21

文責：校長 内田



なりたい自分に～新年によせて～

令和8年、年明けとなりました。今年もどうぞ、よろしくお願ひいたします。
子どものころは、明るくてにぎやかな夏が一番好きでしたが、今は、大みそか

からお正月の、空気まで変わったようなしんとした雰囲気が好きです。ここ数年、新年は自宅近くの天満宮に歩いて参拝するのが習慣になりました。「なりたい自分になれますように、そのための努力を惜しまずできますように…」神様の力を借りるのは、願いを叶えてもらうためでなく、神様に伝わるように心の中で明確に言葉にすることで、自分自身が意識するためだと思っています。その結果、願った通りに自分自身が動けるのだと思っています。

子どもたちには各教室で「なりたい自分」を意識する時間があります。新年の目標、抱負を書く時間です。どんな目標を立てたか、お家でも話題になさってみてください。



あちゅっ、ホクホク焼き芋



12月23日(火)、

1、2年生は収穫したさつまいもで焼き芋大会を催しました。地域の方に火おこしや焼き上げをお手伝いいただき、1時間ほどでホクホクの焼き芋が焼けました。子どもたちは、その前日、掘って干し

ておいたサツマイモを寒さ冷たさに文句も言わず、水でごしごし洗って準備しました。当日は、お芋を一つずつ水にくぐらせ、キッチンペーパーでくるみ、更にアルミホイルで包んで準備完了。あとは、大人の出番です。緑の少年団の昨年の炭焼き体験でできた炭を使って地域の方が焼き上げてくださいました。大きなお芋でしたが、しっかり火が通って、あま~い焼き芋ができました。子どもたち、大満足でした。

みんなで支える～認知症サポーター養成講座～

少し、時期をさかのぼりますが、12月10日(水)は4年生で菊池市役所健康福祉部による認知症サポーター養成講座を実施しました。「こんな時はどう言葉かけをするか」という実例を示しながらの学習でした。4年生ながら、知識を持って答えることのできる子どもたちもいて、ご家庭での普段の暖かな接し方等をしっかりと見ているのだろうな、と感じました。私の母も80歳を過ぎた時、認知症と診断されました。子どもたちを見習って、余裕をもった接し方をしたいと思ったことです。

